



特集

世界最大のマーケット・米国での
「貼付剤による治療文化」の
一層の浸透へ向けて

トピックス

「貼付剤におけるグローバル・
キープレイヤー」として
着実な進化と成長が続く

経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス[®]テープ」の
「0.5mg」新用量が薬価基準に収載

経皮吸収型過活動膀胱治療剤「OABLOK[®]PATCH」の
台湾における製造販売承認を取得

当期の 事業活動に ついて

第117期 決算を終えて
2018年3月1日から2019年2月28日まで

「貼付剤におけるグローバル・キープレーヤー」 として着実な進化と成長が続く

経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の「0.5mg」新用量が薬価基準に収載

2018年7月に新用量追加に関する承認事項一部変更承認を取得した経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の「0.5mg」が同年11月、薬価基準に収載されました。本剤は、2010年に「中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛」を効能・効果として製造販売承認を取得し、2014年には「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」の効能・効果の追加承認を取得しました。本剤「0.5mg」により、癌疼痛患者および慢性疼痛患者における低用量の他のオピオイド鎮痛剤からの切り替え時の用量選択や、用量増減時のより細かな用量調整が可能になると考えています。

癌疼痛および
慢性疼痛に苦しむ
患者様の
QOL向上に貢献

経皮吸収型過活動膀胱治療剤「OABLOK®.PATCH」の台湾における製造販売承認を取得

台湾において2018年11月、経皮吸収型過活動膀胱治療剤「OABLOK®.PATCH」の製造販売承認を取得しました。本剤は、当社のTDDS (Transdermal Drug Delivery System/経皮薬物送達システム) 技術を用いて開発した、オキシブチニン塩酸塩を有効成分とする経皮吸収型製剤です。安定した薬物血中濃度の維持により薬効の持続が期待されます。



台湾における
過活動膀胱の
患者様の
QOL向上に貢献

CONTENTS

トピックス……………	1	事業の概況……………	7
第117期決算のご報告……………	2	配当金について……………	9
特集		連結決算ハイライト……………	10
—世界最大のマーケット・米国での「貼付剤による治療文化」の一層の浸透へ向けて— ……	3	連結財務諸表(要約)……………	11
東京2020大会に関する活動 ……	5	会社の概況/株式情報……………	13
スポーツ活動支援 ～久光スプリングスの活躍～ ……	6	インフォメーション……………	14

■ 将来予想に関する記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。

第117期決算のご報告



代表取締役社長
最高執行責任者 (COO)
中富 一榮

代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO)
中富 博隆

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第117期(2018年3月1日～2019年2月28日)の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場の医療用医薬品は、主力の「モーラス®テープ」を中心に医療費抑制策の影響を受けた為、減収となりました。一般用医薬品は、主力の「サロンパス®」および「フェイタス®」シリーズや「アレグラ®FX」等が売上を伸ばし、増収となりました。

海外市場の医療用医薬品は、後発品発売の影響を受け減収となっております。一般用医薬品は、「サロンパス®」を中心に売上を伸ばし増収となりました。

なお、昨年引き続きユーロモニター社より一般用医薬品市場鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、「Salonpas®」が2年連続で販売シェアNO.1ブランドの、「久光製薬」が販売シェア世界NO.1企業の認定をそれぞれ受けました。また、米国においてサロンパス®ブランドが一般用医薬品鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位を獲得するなど、海外における評価を一段と高めています。

以上により、連結業績は、売上高1,434億8百万円(前期比3.4%減)、営業利益222億7千8百万円(同17.3%減)、経常利益246億4千7百万円(同12.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益192億4百万円(同0.4%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

世界最大のマーケット・米国での「貼付剤による治療文化」の一層の浸透へ向けて

久光製薬の企業使命「貼付剤による治療文化を世界へ」。
世界最大のマーケットである米国でもその一層の浸透を図るため、1987年に久光アメリカを設立。
2009年には医療用医薬品領域においても展開を進めるべく、ノーベン ファーマシューティカルスを
子会社に加え、今日、確たる実績を築いています。



久光アメリカ 一般用医薬品

「サロンパス®」世界No.1ブランドに2年連続の認定

ユーロモニター社より、一般用医薬品市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、「Salonpas®」が2年連続で販売シェア世界No.1ブランドの、「久光製薬」が販売シェア世界No.1企業の認定をそれぞれ受け、2018年5月18日に認定証を授与されました。ロゴ入りパッケージを展開していた米国では、「Salonpas®」においてこれを記念するパッケージデザイン変更しました。また久光アメリカをはじめとする海外子会社では、5月18日の「サロンパス®の日」(こ(5)りをいや(18)す)に販売促進活動を一斉実施し、認定取得のニュースと相俟って、各地で大きな販促効果を生む事ができました。

パッチテクノロジーへの理解浸透と米国医薬品課題解決への参画

久光アメリカのミッション(社会的使命)は、当社の企業使命である「貼付剤による治療文化を世界へ」を米国で広めていくことです。ここ数年、一般用医薬品鎮痛消炎貼付剤市場での全米シェア1位を獲得していますが、飲み薬が一般的な米国では、引き続き周知・啓発を進める必要があります。
その一環として同社では、商品サンプリング、SNSによるインフルエンサーからの発信、マスメディアを利用した宣伝などマルチチャネルによる取り組みを進めています。また、他社のベストプラクティスや久光製薬グループの各国での経験も活かすことで、パッチテクノロジーの可能性を広げています。さらには同社CEOのJohn Incedoniは、米国OTCメーカーの業界団体CHPA*の役員を務め、購入された後の薬が適切に扱われているかなど、積極的に米国における社会課題の解決にも努めています。

ノーベン ファーマシューティカルス 医療用医薬品

医療用医薬品領域での貼付剤に関わるグローバルな展開の一翼を担う

ノーベン ファーマシューティカルス社は創業以来、貼付剤技術を活用し、人々のQOL向上に寄与してきました。2009年に当社子会社となって以降は、両社でTDDS*技術をさらに深めながら、より安全で有効性の高い製品の開発と供給に努めています。また、アンメットニーズ(未だに治療法が見つからない疾患に対する医療ニーズ)を満たすための革新的な貼付剤開発にも取り組んでいます。
同社では今後数年間で、統合失調症やADHD(注意欠陥・多動症)、変形性関節症の患者様のために新しい貼付剤をお届けする計画があります。短期間に新たなTDDS製剤を市場に展開する取り組みは医薬品業界では前例のないことですが、これらを実現させるために、全従業員が連携を図りながら事業を行っています。

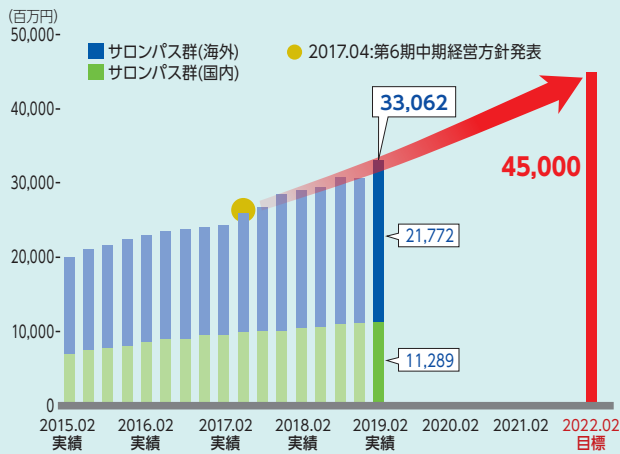
* Transdermal Drug Delivery System : 経皮薬物送達システム

* 正式名称 : Consumer Healthcare Products Association



アメリカでは「サロンパス®」世界No.1ブランドのロゴ入りパッケージを展開

サロンパス群の売上高推移



久光製薬は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）」の活動を通じ、大会の成功に貢献することに加え、「東京2020大会」にかかわる選手、大会関係者、ボランティア、観客の皆様といった全ての人々に「貼って手当てすることの良さ」をお伝えすることで、元気で、すこやかな未来を作り出す社会の実現に取り組んでいます。

東京2020オリンピック・パラリンピック 大会ボランティア100名を社内募集

東京2020オリンピック・パラリンピックの成功は、「大会の顔」となるボランティアの皆さんの活躍にもかかっています。

当社では東京2020大会のボランティア100名を社内募集し、現在さまざまなオリエンテーションを進めています。また大会期間中は会社からの支援として、ボランティア100名に対して有給3日間の付与、宿泊支援を行います。私たち久光製薬は「東京2020大会を成功させたい」という社員の熱意を大切にしながら、オフィシャルパートナーとして、東京2020大会を盛り上げ、大会の成功に貢献してまいります。



出典元：東京2020大会公式サイト

「貼る」驚きを、安らぎを、感動を、もっともっと伝えたい。 久光製薬の想いをカタチにした「企業CM」が完成！

「貼るを、未来へ。」応援 篇



企業CM2編、企業ムービーは
当社特設サイトからもご覧いただけます。
<https://2020.hisamitsu/movie/>

のたび当社では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）として、企業CM「『貼るを、未来へ。』貼るの原点」篇と「『貼るを、未来へ。』応援」篇を、全国でオンエアしております。

「『貼るを、未来へ。』貼るの原点」篇は、当社がこだわり続けてきた「貼る」ということへの想いを、「『貼るを、未来へ。』応援」篇では、「貼る」の原点でもある「手当て」を通じて「すべての人の挑戦を支えたい」という想いを伝える内容となっています。

企業CMの2篇では、プロゴルファーの宮里藍さんにご出演いただき、宮里さんらしい真剣なまなざしで、当社の想いを表現していただきました。また、宮里さんには当社創業の地である九州本社（佐賀県鳥栖市）にお越しいただき、「『貼る』の原点を探る」というストーリーの企業ムービーにもご出演いただきました。

1948年に誕生した久光製薬の女子バレーボールチームは、2018年に創部70周年を迎えました。現在、「久光製薬スプリングス」としてV.LEAGUE DIVISION1に所属し各種大会に参加する一方、地域に根ざしたスポーツ支援活動も行っています。



2018/19 V.LEAGUE DIVISION1優勝

On the Court 2018/2019シーズン、 3冠達成！

女子バレーボールチーム「久光製薬スプリングス」は、2019年4月13日に行われた2018/19 V.LEAGUE DIVISION1女子ファイナルにおいて東レアローズにゴールデンセットにて勝利し、2年連続7回目の優勝を果たし、新生V.LEAGUE Division1の初代女王となりました。2018年10月9日に優勝した第73回国民体育大会（2年連続8回目）、同年12月25日に優勝した平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会（2年ぶり8回目）と併せて2018/19シーズンは3冠を達成する事ができました。

Off the Court CSRの推進につながる久光製薬スプリングスのチームプレー

久光製薬スプリングスの選手は、一人のアスリートとしても広く認知されています。この社会的な役割を最大限に生かすため、様々な取り組みを行っています。

医療施設の訪問

久光製薬スプリングスの選手は、長期の療養を余儀なくされている児童を対象に、医療機関の訪問を行っています。2018年7月には佐賀整肢学園こども発達医療センター等を訪問しました。



その他の活動

図書館との連携では、次世代教育を念頭に選手が感動した本を紹介することで、多くの子どもたちに読書への興味を持って頂き、活字に触れる機会を創出しています。また、試合会場でのグッズ販売収益の一部を日本赤十字社への寄付に充てたり、地元警察署での一日署長の活動で防犯への協力をする等、積極的に地域に関わる活動を行っています。



事業の概況

当期の概況

医療用医薬品事業

医 療費抑制策が進む中、先行きが不透明な環境下で推移しました。

このような状況の中、当社は、経皮吸収型貼付剤を中心として、医療機関への適正かつ、きめ細やかな学術情報活動、すなわち有効性・安全性に関する情報の提供・収集活動を展開するとともに、ケトプロフェン含有の経皮鎮痛消炎剤「モーラス®テープ」及び「モーラス®パップXR」、「モーラス®パップ」、経皮吸収型エストラジオール製剤「エストラーナ®テープ」、鎮痛効果の高いフェンタニルクエン酸塩含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」、ブプレノルフィン含有の経皮吸収型持続性疼痛治療剤「ノルスパン®テープ」、オキシブチニン塩酸塩含有の経皮吸収型過活動膀胱治療剤「ネオキシ®テープ」などの適正使用促進活動に努めました。

2018年4月には、経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤「アレサガ®テープ」、2018年12月には、経皮吸収型持続性疼痛治療剤「フェントス®テープ」の新用量「0.5mg」の販売を開始しました。

一般用医薬品事業

経 皮鎮痛消炎剤などの販売に加えて、新商品を投入し、新規顧客創造活動に努めました。

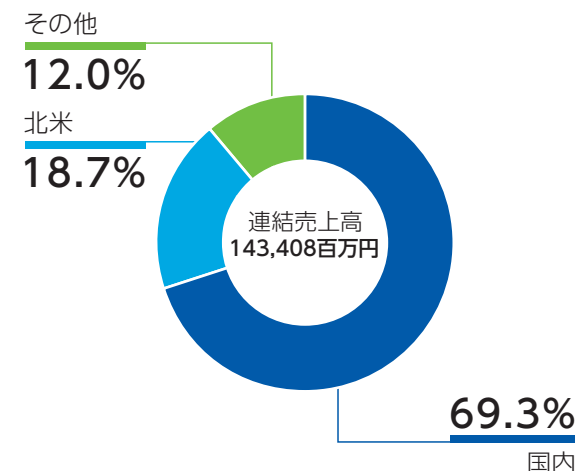
2018年3月には、新容量の水虫・たむし治療薬「ブテナロック®Vα クリーム18g、同液18mL」、2018年4月には、雑貨品の「ブテナロック®除菌抗菌スプレー」、＜冷感＞経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび®サロンシップ®Fα」と経皮鎮痛消炎プラスター剤「サロンパス®120枚入」、2018年5月には、新包装の＜冷感＞経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび®サロンシップ®F」、2018年9月には、ジクロフェナクナトリウム配合温感テープ剤「フェイス®Zα ジクサス®温感、同温感大判」、2019年1月には、アレルギー専用鼻炎薬「アレグラ®FX56錠」の販売を開始しました。

海外事業

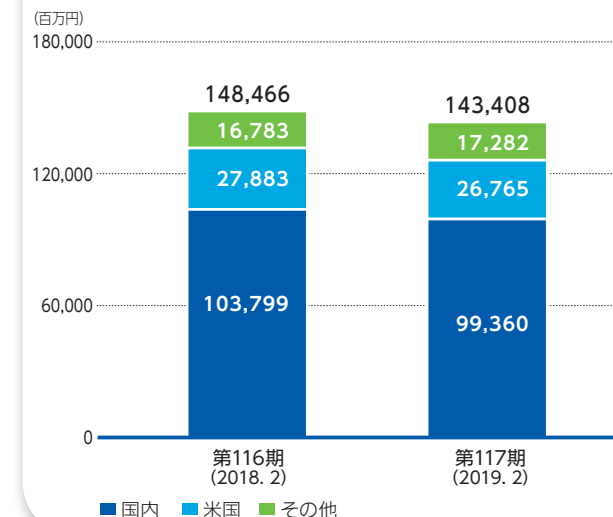
ユーロモニター社より、「Salonpas®」がOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤カテゴリーにおいて、2年連続で販売シェア世界No.1ブランドの認定を受け、また、同カテゴリーにおいて「久光製薬」が販売シェア世界No.1企業の認定を受け、2018年5月18日に認定証を授与されました。

サロンパス®ブランドは、海外においても積極的な販売促進活動を展開し、米国のOTC医薬品（一般用医薬品）市場の鎮痛消炎貼付剤市場における販売額シェア1位（2018年1月から2018年12月 累計販売金額）を獲得しています（Information Resources, Inc.）。

地域別売上高構成比



地域別売上高の推移



次期の見通し

次 期の見通しにつきましては、医療費抑制策の影響や企業間競争の激化など引き続き厳しい事業環境が続くと予想されており、当社グループでは次のように取り組んでいきます。

国内の医療用医薬品事業につきましては、医療機関への学術情報活動を一段と強化するとともに、医療機関・患者さんのニーズに合致した新しい局所性及び全身性の医薬品開発を目指します。

国内の一般用医薬品事業につきましては、外用鎮痛消炎剤の売上伸長をはかるとともに、お客様のニーズ

にお応えできるよう既存商品の改良及び新商品の開発を行います。

海外の事業展開につきましては、知的財産、製造技術及び品質管理技術を含めた当社ブランドの確立を図るとともに、海外生産工場の一層の充実と海外における臨床試験の促進を図ります。

次期の業績予想については、売上高1,435億円（前期比0.1%増）、営業利益229億円（同2.8%増）、経常利益255億円（同3.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益194億円（同1.0%増）を見込んでいます。

配当金について

利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益還元を最重要課題と認識し、安定的な配当の継続を基本と考えています。

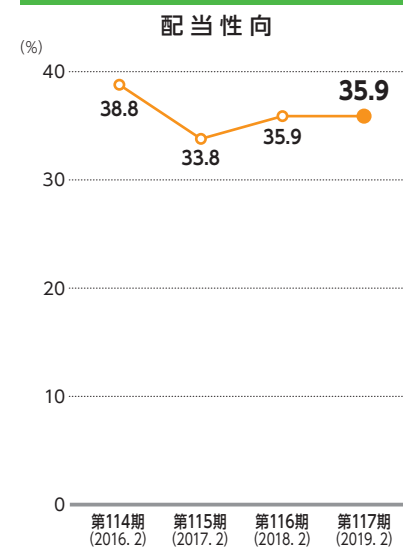
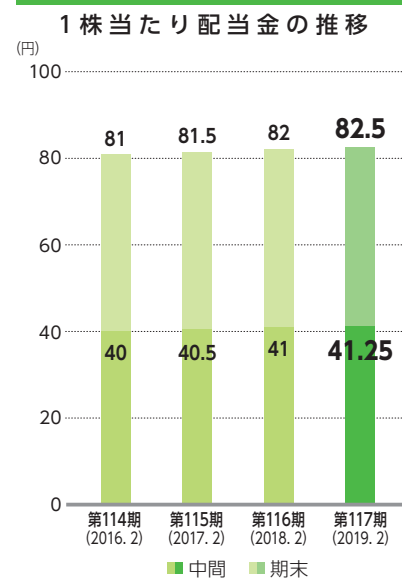
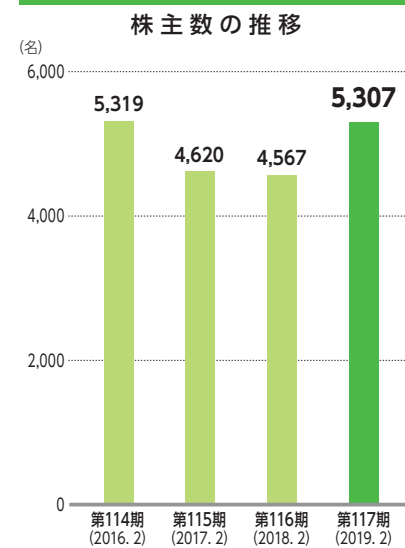
このほか、株主の皆様への有効な利益還元策として、自己株式取得などの財務諸施策を機動的に遂行します。

内部留保資金については、研究開発の推進、生産設備の拡充および海外事業の展開などに重点的に投資し、経営基盤の

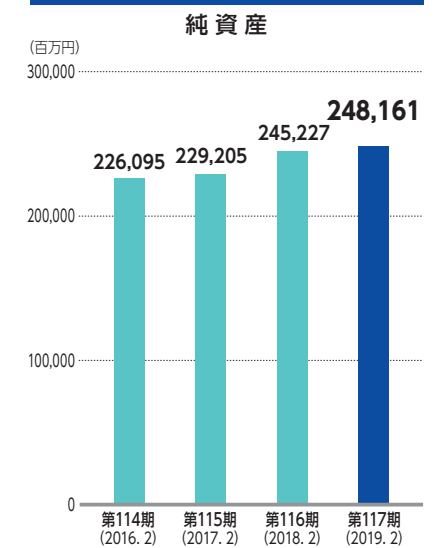
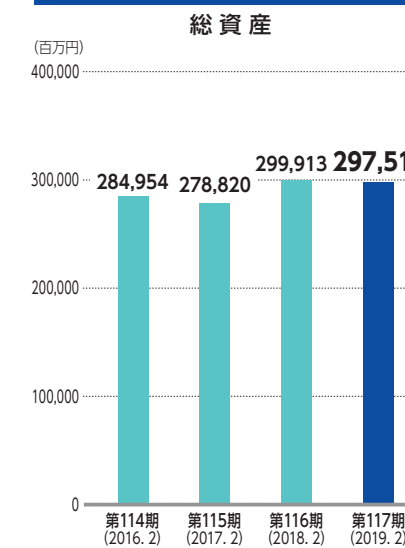
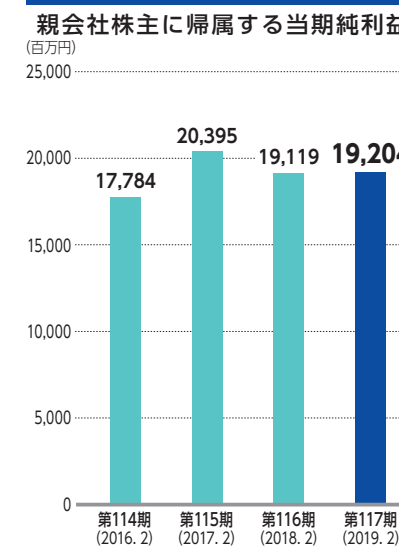
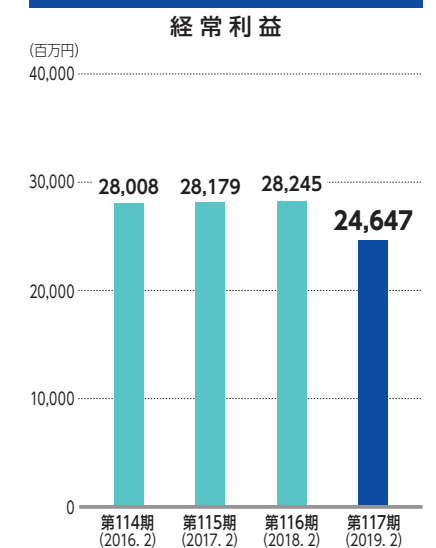
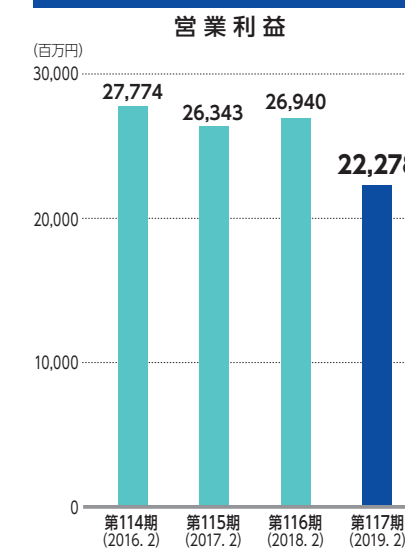
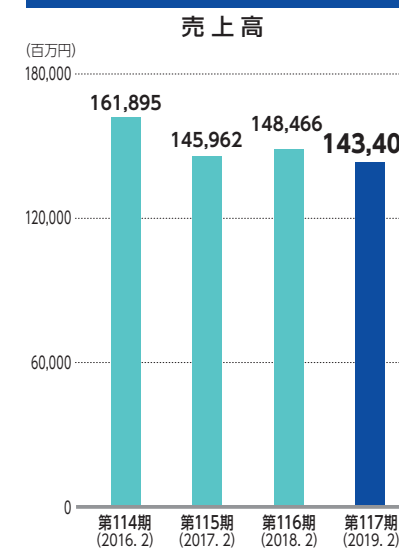
強化を図ります。

当期の配当は、期末配当金を1株につき41.25円とし、中間配当金41.25円とあわせて年間82.5円といたしました。

また、次期の配当につきましては、中間配当金41.5円、期末配当金41.5円とし、年間で1株につき83円を予定しています。



連結決算ハイライト



連結財務諸表 (要約)

Point 1 資産

総資産は2,975億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べて24億1百万円減少しました。主な増減は、現金及び預金(69億5百万円減)、有価証券(61億8千7百万円増)、受取手形及び売掛金(47億7千6百万円増)及び投資有価証券(36億4千9百万円減)です。

Point 2 負債

負債合計は493億5千万円となり、前連結会計年度末と比べて53億3千5百万円減少しました。主な増減は、未払法人税等(40億2千3百万円減)及び未払金(13億4千2百万円減)です。

Point 3 純資産

純資産合計は2,481億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べて29億3千3百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金(123億4千4百万円増)及び自己株式(61億7千6百万円減)です。

Point 4 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高は1,434億8百万円(前期比3.4%減)、営業利益は222億7千8百万円(同17.3%減)、経常利益は246億4千7百万円(同12.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は192億4百万円(同0.4%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 (2019.2.28 現在)	前期 (2018.2.28 現在)
資産の部		
流動資産	193,569	190,065
固定資産	103,942	109,847
有形固定資産	39,556	40,064
無形固定資産	1,990	4,100
投資その他の資産	62,394	65,683
資産合計	297,512	299,913
負債の部		
流動負債	30,354	34,938
固定負債	18,996	19,747
負債合計	49,350	54,686
純資産の部		
株主資本	222,189	216,021
その他の包括利益累計額	24,284	27,679
新株予約権	392	299
非支配株主持分	1,295	1,227
純資産合計	248,161	245,227
負債純資産合計	297,512	299,913

連結損益計算書

(単位:百万円)

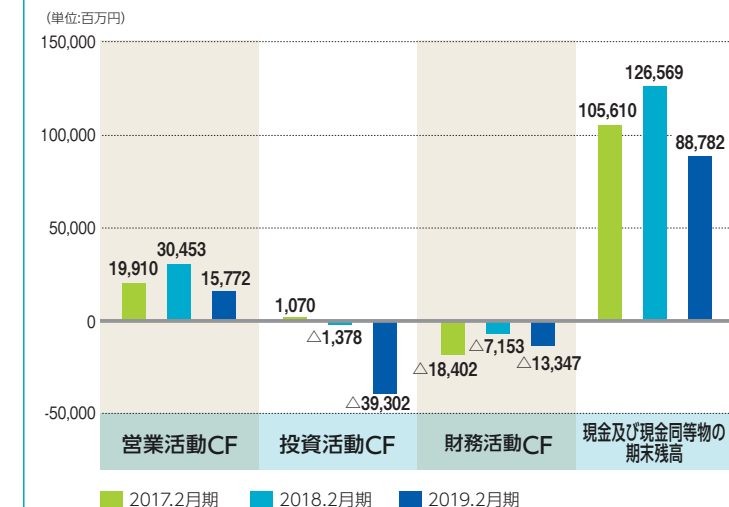
科目	当期 (2018.3.1から 2019.2.28まで)	前期 (2017.3.1から 2018.2.28まで)
4 売上高	143,408	148,466
売上原価	54,727	55,688
売上総利益	88,680	92,777
販売費及び一般管理費	66,401	65,836
4 営業利益	22,278	26,940
営業外収益	2,582	1,803
営業外費用	214	498
4 経常利益	24,647	28,245
特別利益	1,312	487
特別損失	285	1,038
税金等調整前当期純利益	25,673	27,694
法人税等	6,294	8,367
当期純利益	19,378	19,327
非支配株主に帰属する当期純利益	174	207
4 親会社株主に帰属する当期純利益	19,204	19,119

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 (2018.3.1から 2019.2.28まで)	前期 (2017.3.1から 2018.2.28まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,772	30,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 39,302	△ 1,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,347	△ 7,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 908	△ 963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△ 37,786	20,959
現金及び現金同等物の期首残高	126,569	105,610
現金及び現金同等物の期末残高	88,782	126,569

キャッシュ・フローの推移



Point 5

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益(256億7千3百万円)、減価償却費(57億4千2百万円)、法人税等の支払額(93億3千9百万円)などにより、157億7千2百万円の収入(前連結会計年度は304億5千3百万円の収入)となりました。

Point 6

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の増加(362億1千8百万円)、有形固定資産の取得による支出(36億2千6百万円)などにより、393億2百万円の支出(前連結会計年度は13億7千8百万円の支出)となりました。

Point 7

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額(68億8千2百万円)、自己株式の取得による支出(61億7千6百万円)などにより、133億4千7百万円の支出(前連結会計年度は71億5千3百万円の支出)となりました。

Point 8

現金及び現金同等物の期末残高

前連結会計年度末と比較して377億8千6百万円減少し、887億8千2百万円となりました。

会社の概況／株式情報 (2019年2月28日現在)

会社の概要

創業	1847年(弘化4年)
設立	1944年5月22日
資本金	8,473,839,816円
従業員	2,792名
事業所	

当 社	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
	東京本社	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
	支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、東京第二支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、台北支店、シンガポール支店、マニラ支店
	営業所	さいたま営業所、千葉営業所、横浜営業所、金沢営業所、京都営業所、高松営業所
	工場	宇都宮工場、鳥栖工場
研究所	筑波研究所、鳥栖研究所	

子 会 社	国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、株式会社タイヨー(佐賀県)、久光エージェンシー株式会社(福岡県)
	海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、ヒサミツ ユーケー リミテッド(英国)、ヒサミツ イタリア S.r.l.(イタリア)、ヒサミツ バトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(バトナム)、久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、久光製薬(中国)有限公司(中国)、久光製薬(香港)有限公司(中国)、P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア)他3社

取締役及び監査役 (2019年2月28日現在)

代表取締役会長 (CEO)	中 富 博 隆	取 締 役	肥 後 成 人	常 勤 監 査 役	中 富 舒 行
代表取締役社長 (COO)	中 富 一 榮	取 締 役	後 田 敏 明	常 勤 監 査 役	平 野 宗 彦
専 務 取 締 役	杉 山 耕 介	取 締 役	高 尾 信 一 郎	監 査 役	小 野 桂 之 介
常 務 取 締 役	秋 山 哲 雄	取 締 役	齋 藤 久	監 査 役	徳 永 哲 男
		取 締 役	堤 村 信 夫		
		取 締 役	市 川 伊 三 夫		
		取 締 役	市 川 貞 二 郎		

(注) 取締役 市川伊三夫、古川貞二郎は、社外取締役です。
(注) 監査役 小野桂之介、徳永哲男は、社外監査役です。

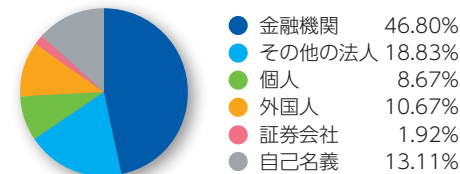
株式の状況

発行可能株式総数	380,000,000株
発行済株式の総数	95,164,895株
株主数	5,307名

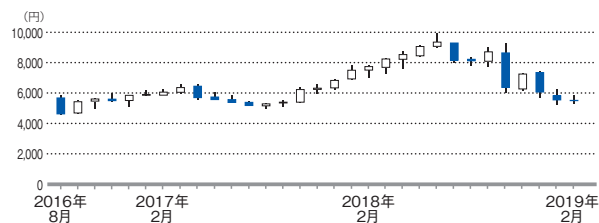
大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,527
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,002
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(リソナ銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,621
株式会社佐賀銀行	2,356

所有者別分布状況



株価の推移



インフォメーション

事業年度	3月1日～翌年2月末日
定時株主総会	毎年5月に開催
配当金受領	2月末日
株主確定日	中間配当金を支払うときは、8月31日
基準日	定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	電子公告により公告 http://www.hisamitsu.co.jp/ir/koukoku.html ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所 各市場第1部及び福岡証券取引所
証券コード	4530

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問合せ先

久光製薬株式会社
九州本社総務部 株式課
〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

商品に関するお問合せ先

久光製薬株式会社 東京本社
お客様相談室
フリーダイヤル 0120-133250
受付時間 9:00～17:50
(土日、祝日、会社休日を除く)

株式に関する手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取(買増)請求 ●住所・氏名等のご変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 [手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 TEL. 0120-232-711(通話料無料) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ウェブサイト

最新の会社情報を当社ウェブサイトに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



<http://www.hisamitsu.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



貼るを、未来へ。

日本には「手当て」という言葉があります。

大切な人に手を添え、「がんばれ」「元気になって」と、心を込めて癒やすこと。

「手当て」に込められているのは、相手への思いやり。

それが「貼る」の原点であり、この国が生んだいたわりの治療文化です。

2020年、世界中が日本に注目する年。

人々が躍動するTOKYOで、「貼る」にしかない、驚きを、安らぎを、感動を、もっともっと伝えたい。

そして、この時代を生きる全ての人々が、

元気で、すこやかに、自らの未来へ向かうとき、それを支えられる「貼る」でありたい。

久光製薬の願いです。



TOKYO 2020
OLYMPIC GAMES

Hisamitsu®



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京2020オフィシャルパートナー（外用鎮痛消炎剤）



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品



肩こり・腰痛・筋肉痛に
第3類医薬品



肩こりに伴う肩の痛み、腰痛などに
第2類医薬品



筋肉痛・筋肉疲労などに
第3類医薬品

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 オフィシャルパートナーシップ契約 カテゴリー商品

お客様相談室 ☎0120-133250 受付時間/9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く)